

		チェック項目	はい	いいえ	その他	効果や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	今後も活動内容や子どもの特性に応じ、空間を有効に使っていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	2	人手（職員）が手薄になる時がある。
	3	職員の専門性は適切であるか	6	0	0	必要に応じ、言語聴覚士や臨床心理士にきていただき支援をしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	毎日の支援会議での計画(P)が充実しているため、無駄なく職員が動き、子どもの成長につながっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	本アンケートだけでなく保護者様との連絡帳をもとに、そのニーズに応えられるよう業務改善を図りたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	引き続き公開していく。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	施設外の研修に積極的に参加している。施設内でも支援会議や研修の場で医療や教育の視点から話し合う習慣ができつつある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	個別支援計画はもちろんのこと、日々の支援の詳細な計画を、支援計画で構築していく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	アセスメントツールをより活用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	1	フロアごとの原案をもとにチーム（全職員）で今後も行なっていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	1	発達段階や興味・関心をもとに5領域のバランスのとれたプログラムを今後も作成していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	休日、長期休暇では施設外での活動をふんだんに取り入れ、社会や地域、自然との関わりを多くしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	5	0	1	計画書の5領域の欄をさらに個別支援、集団支援の欄を加えていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	毎日の支援会議での計画(P)が充実しているため、無駄なく職員が動き、子どもの成長につながっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	2	勤務時間の関係で終業時に参加できない職員がいるので、翌日の支援会議で振り返りを行なっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	分担して記録を行なっているが、特に手厚い支援が必要な場合は別途記録をとり、相談支援専門員、児童相談所などとも連携を図りながら検証と改善を行なっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	全職員から意見を出してもいい、様々な視点から計画を見直していく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	0	0	4つの基本活動はすでに組み合わせている。今後は5領域の観点の相互の関係を大切にしながら行なっていく。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	担当者会議には代表者だけでなく、そのお子さんを普段支援している支援員が同席するようにしている。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	情報共有、連絡調整を日々行なっている。不測の事態があった場合はすぐに学校に連絡したり問い合わせたりするようにしている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	現在、在籍なし。医ケア児を医師との連絡なしに受け入れることはしない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	1	新一年生からの利用は、当施設はあまりないが、利用がある場合は情報共有に努めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	0	卒業する子どもの利用は、当施設はあまりないが、次年度ある場合は情報共有に努めたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	基幹相談支援センター、児童相談所の職員との情報交換や担当者会議の場や研修の場を設けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	2	学童との交流はない。地域との交流を図る活動は企画している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	1	一部の職員だけでなく、その内容に合わせ、全職員が参加するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	情報共有をし、必要に応じ担当者会議を開催したり、児童相談所職員や臨床心理士も交え相談する会などを設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	2	特性に応じた接し方、子どもの力や声の引き出し方などを、保護者や学校の先生に伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時、面談時に説明を行なっている。よりわかりやすい説明を心がけたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	28,29と同じ。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	父母の会がないので、できた際は支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	HUGによる連絡、電話、ラインなどでの連絡方法からも受け付けられるようにしている。苦情があればできるだけ早く適切に対応する危機意識を常に持ち合わせていきたい。
	34	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	定期的「みくらまちだより」を発行し、施設の様子や予定を伝えている。HUGにて毎回子どもの様子やその他の連絡を行なっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	1	子どもの前で、職員間の連絡（個々の子どもについて）をしないようにする。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	子どもに対しては、特性に合わせた伝達方法を考慮し、保護者に関しては、電話HUG、ライン、面会などを使い分け、今後も意思疎通を大切にしていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	2	はなえみワクワクおはなし会、マスキングテープアートなど公開行事を行なった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	ホームページで公開しているのでいつでも見られるようになっているが、避難訓練を受けてのマニュアルの見直しや改善を重ねていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	全施設での訓練のほか、当施設のビルごとの避難訓練も消防や防災会社などの指導を受け行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	定期的な研修と月一度の虐待防止委員会を受けての伝達を行なっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	利用契約書に記載し、契約時に確認している。現在、計画書に記載すべき児童は所属していない。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	アレルギーのある子どもや職員の周知と、エピペン使用者がいるので、置いている場所、利用方法についても確認していきたい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	1	ヒヤリハット事例集を作成し、職員研修で活用したい。